

これから始める GAP

上川農業改良普及センター士別支所

参考資料：農林水産省「これから始めるGAP」より

GAPって？

よい 農業の やり方
GAP = Good Agricultural Practice

「適正な農業のやり方で生産しよう！」
という取組のこと

GAPは日常的な取り組み

「5Sの実践」

「記録を残すことの重要性」

整理

整頓

習慣

清潔

清掃



GAPの実施と認証

実施「GAPに取り組む」とは

農業者がGAP（活動または取組）を自ら実施することで、認証を取得しているかどうかは関係ありません。

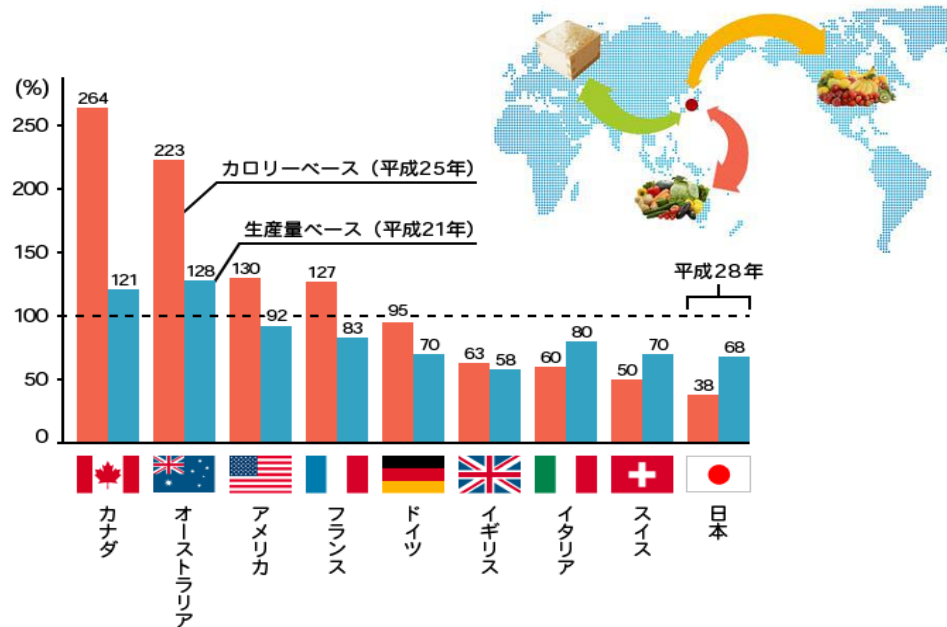
認証「GAP認証をとる」とは

GAP認証は、第三者機関の審査によりGAPが正しく実施されていることが確認された証明のことです。これによりGAPを実施していることが客観的に証明されます。

食品の安全を守るために 農業者ができること

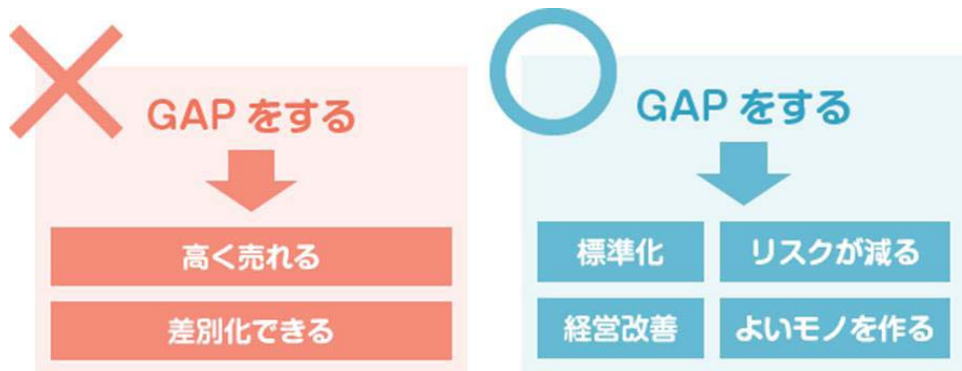


競争力のある農業



GAPの目的

GAPをすれば儲かる？



GAPの目的

GAPでリスクを管理



GAPの実施から得られるもの



GAPの実施から得られるもの

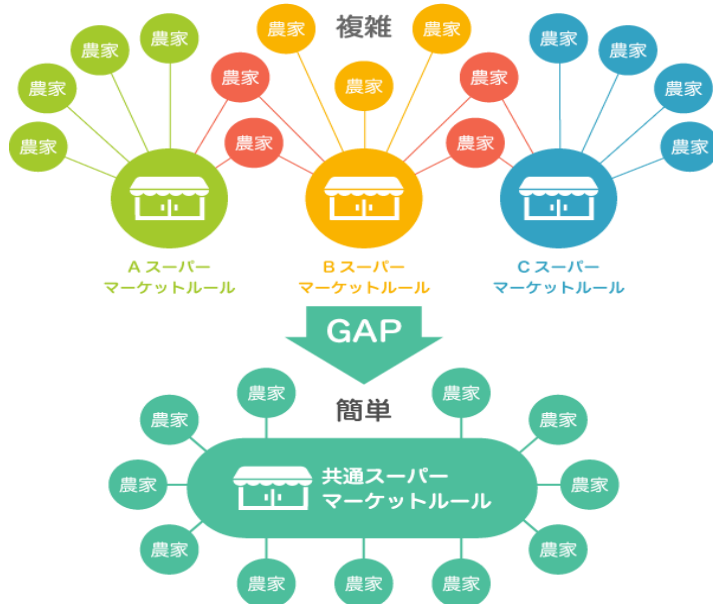
GAP 実施による経営改善効果



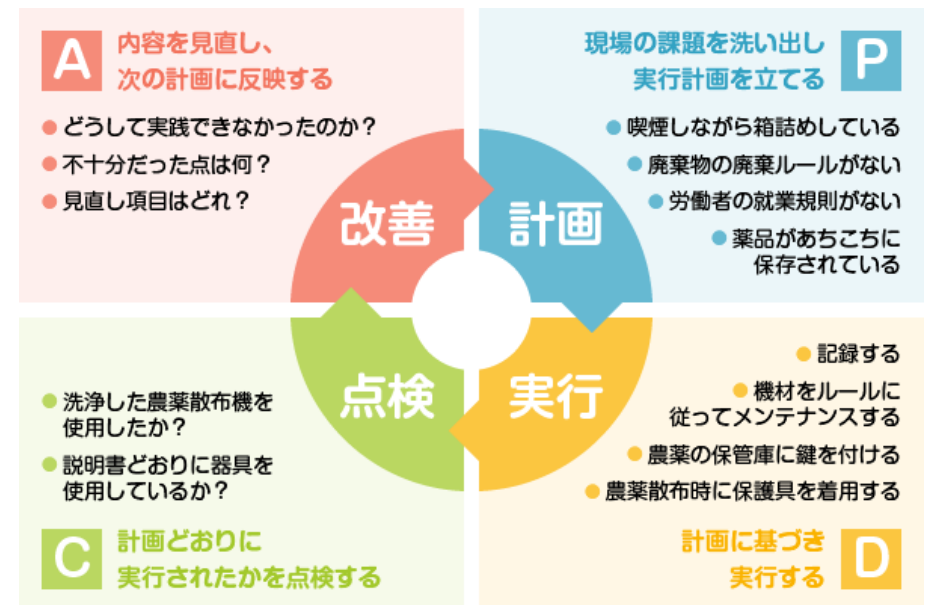
「改善した」と回答した者の割合

出典：「GAP 導入による経営改善効果に関するアンケート調査結果」
(H25.1 (独) 農業・食品産業技術総合研究機構)を基に農林水産省生産局農業環境対策課で作成

GAP誕生の経緯



PDCAの重要性



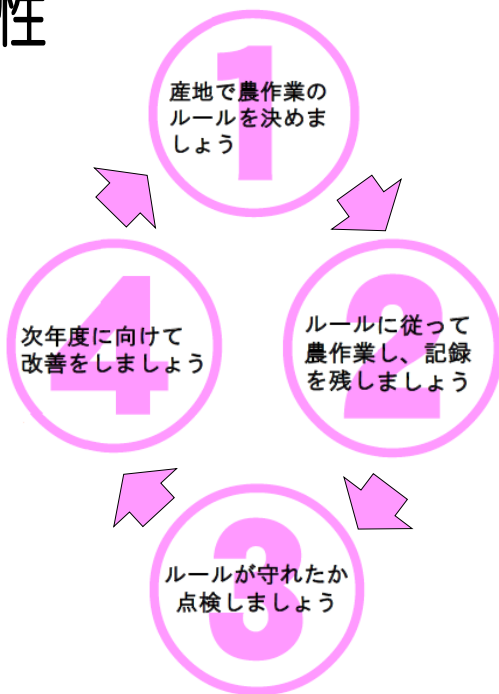
ルール作りの重要性



<農業散布のルールの例>
・ラベルの内容を守って使用
・洗浄した散布機を使用
・飛散の少ない日に散布
・保護具の着用



<ルールの例>
(食品安全)異物混入防止のため、収穫時の喫煙・飲食の禁止
(環境保全)廃プラの焼却の禁止
(労働安全)機械詰まり除去時のエンジン停止
※ルールとして定めるべき事項の検討にあたっては6、7ページの取組事項を参照



GAPの5つの柱

2 環境保全



農薬による環境汚染の防止、適切な土壌管理、正しい廃棄物処理方法・排水処理方法、施設・機械等の使用時の不必要・非効率なエネルギー消費の節減、有害鳥獣による被害防止策の作成など、農場および周辺の環境の安全を守るためのルール作りを行い、実施します。



GAPの5つの柱

1 食品安全



環境由来の重金属やかび毒等による汚染を防止・低減する対策、農薬の適正な保管・使用、作業者自身の健康・衛生管理（病原微生物による農産物汚染防止）、農機具等の安全な保管・取り扱い、異物の混入防止、収穫した農作物の保管方法など、食品の安全を保つためのルール作りを行い、実施します。



GAPの5つの柱

3 労働安全



農業分野における事故は、ときに死に至る危険性があります。危険な作業の把握、安全に作業を行うための服装や保護具着用、機械等の適正な使用、燃料の保管方法、警告標識の重要性、応急処置訓練講習会の受講など、労働者の安全確保のためのルール作りを行い、実施します。



GAPの5つの柱



4 人権保護

休憩場所・休憩時間の確保、性別・国籍・出身地・宗教による差別行為の禁止、過剰労働の軽減、雇用契約書の締結、就業規則の作成、社会保険・労災保険への加入など、農業現場従事者の基本的人権を守るためのルール作りを行い、実施します。



GAPの5つの柱



5 農場経営管理

農場マップの作成、指揮命令系統の確立、教育訓練の実施、作業・活動の記録、運営上必要な情報の記録、外部委託者の監視、クレーム対応の手順と記録など、農場経営にとって必要なルール作りを行い、実施します。

